

外来化学療法患者の看護の検討

東6階病棟：島田美千子・宮沢しのぶ・下井 由美

1. はじめに

当科では、乳癌の手術後の患者の多くに対し、外来にて長期にわたり、化学療法が行われている。しかし、これまで忙しい外来業務におわれ、化学療法患者への看護意識が薄く副作用等の患者の実態が見過ごされがちだった。

今回、化学療法（以下CEFと略す）の副作用を中心に、治療中及び帰宅後の患者の状態を知るため、その実態を調査し、今後の外来看護に生かそうと思ひ、この研究に取り組んだ。

2. 研究方法

〈対象〉外来CEF治療患者 23名（うちアンケートによる調査15名：聞き取り調査8名）

〈期間〉平成6年5月～9月

〈方法〉アンケート用紙を渡し、待ち時間を利用しての記載または次回来院時に回収。

他、その場での聞き取り調査。

これらより、実態を明らかにし、問題点を抽出する。

〈CEFの実際〉

エンドキサンの内服 ファルモルピシン・5FUの点滴

CEFの施行前に緊急血算にて白血球チェック（WBC3000以下中止）

脱毛予防のためファルモルピシン静注30分前よりダンクールキャップを使用し頭部クーリング施行点滴終了までに約半日を要する。

1週間に2回（月・水） 1日3～4人のペースで予約、施行されている。

3. 研究結果

アンケート調査により、殆どの患者が訴えた副作用の内容としては、一番に“疲れ易いだるい”等の訴えが多く、続いて消化器症状（食欲不振、悪心、嘔吐）、頭痛、咽頭痛、咳嗽、そして、腕のしびれ感という症状もあげられた。

さらに、治療中「血液検査の結果がいつも不安」「通院するのは面倒」という声も聞かれている。回数を重ねている患者は、“初回に比べ副作用が軽い”又は“変化なし”と答えている人が多かった。点滴治療の当日は、家族の付き添いを伴う場合もあるが、帰宅まで体調に変化なく、無事に帰れることが確認できた。

点滴治療後自宅では、2日～1週間位が一番体調がすぐれず、家で休んでいる時間が長いという人が多かった。しかし、多少個人差はあるが、殆どの方は、家事動作や仕事など普段と変わらず行っていることもわかった。

以上のことから、副作用のあり方は様々であるが、全般に軽傷であることに安心する反面、

- ・長期化している点滴治療に関連した苦痛
- ・通院治療に伴う日常生活パターンの障害

・疾患に対する潜在的な不安
などの問題も明らかになった。

4. 考 察

今回のアンケート調査は約5カ月に及んだが、一人の患者が2～3週間に一回の割合で6～12ケールの子約のCEFを行っているため、アンケート数が予想以上に少なかったことは残念であった。

外来業務の中では、患者の待ち時間を短く、なるべく早く帰宅できるようにと時間に追われてばかりいるところがある。患者の様子が気になりながらも、ゆっくり話す余裕をもてずにいたが、今回の研究を機会にCEF患者の声に耳を傾けることができたのは大きな収穫であった。そして、今後の外来看護の意識を更に高める必要があることを再認識させられた。

現在、第二外科では、乳癌患者について、医師よりはっきりとした癌告知はされていないのが現状である。その上で治療を受けている患者の心理面についても目を向け、外来受診時の短いかかわりの中で患者各々の個別性も考慮しながら、幅広く支援できる看護を心がけて行きたい。

そして、今後病棟から外来、在宅へと継続看護がはかれるよう、①パンフレットによる退院指導や②サマリーの活用を検討して行きたい。

① について：治療のスケジュール，簡単な副作用，治療継続の必要性

副作用の軽減のための援助として

- a. 消化器症状に対する食事指導
- b. 脱毛に対する頭部冷却法の必要性 ローション
- c. その他生活全般に対する指導

② について：病棟→外来へ簡単な看護要約

治療方針

治療の説明について統一するために患者が医師の説明内容をどう受け止めているか把握し記載

5. まとめ

医療の高度化とともに、外来で対応する疾患も幅広く細分化され、専門的治療がなされている。そのため、手術後もかなり長期の継続治療を必要とする患者が増加して、外来看護業務もますます複雑化し、同時に責任も重くなってきている。

外来看護では、受診時の看護も大切であるが、帰宅後の生活時間が長いだけに、個々の生活背景を考えた関わりを心がけることも必要であると思う。

【参考文献】

- 1) 松下 和子他：与薬と看護. 看護MOOK No12. 金原出版株式会社, 1984 P.123
- 2) 委羽倭文子他：外来看護とプライマリ・ケア 看護MOOK No14 金原出版株式会社, 1985 P.141～145 197～201
- 3) 日野原重明：がん看護マニュアル. ナーシングマニュアル 1988 P.203. 258～269

〈アンケート調査結果〉

① 外来へ一人できますか？	一人で来る	15名
	送り迎えのみ	5名
	付き添いあり	2名
② 2 帰宅後何日位具合が悪いですか？	変化なし	5名
	1～2日	4名
	3～4日	2名
	一週間位	9名
	一週間以降	3名
③ 初回に比べてどうですか？	変化なし	17名
	初回より軽い	3名
	初回より重い	3名
④ 具体的にどのような症状がでますか？	疲れ易い	10名
	食欲不振	4名
	頭痛、頭重感	4名
	咽頭痛、咳	3名
	悪心、嘔吐	3名
	口内炎	2名
	上腕のしびれ、鈍痛	2名
	めまい、口渇、動悸、脱毛、舌のしびれ、体熱感	
	特になし	8名
	⑤ その他家で困ったことがありますか？	通院するのが面倒（家での仕事が忙しく）
	いつも白血球の検査で不安	
	トイレが近いこと	
	仕事するのに腕が痛い	
	しびれで夜眠れない	
	疲れ易いので睡眠を多くしている	
	家事動作や仕事は普通にしている	